

6時目の感想から (400字程度にまとめさせた)

A

「心ってすごいな。」

私は、初めてこれを読んだとき、「あーちゃんってけっこう意地悪だな」と思っていたけど、読み込んでいくうちに、人の意見を聞くうちに、その考えは変わっていった。

パソコンを使っているいろいろな人と意見交換をしたときに、「あーちゃんは僕に普通の友達としてしてもらいたかったんだと思う。」とか、『普通の友達として見てもらいたかったから「触ってみるかい?」といえたんだと思う。』などという意見がたくさん出ていた。そう考えていくと「あーちゃんは僕の心の中をずっと見ていたのではないか。」という考えが浮かんできた。

僕がけがをして、あーちゃんと同じハンディ(不自由なところ)ができてから、僕の心にも『心の目』ができたのではないかと思う。

友達と友達って心と心でつながっているんだなあと思った。

B

「僕の気持ちの変化」

初めて読んだときには、「僕の片目がふさがれて違う何かが見え始めたというのは、何が見え始めたのだろう」「その後なぜ僕のあーちゃんに対する気持ちが変わったんだろう」と疑問ばかりでした。義足だからあーちゃんを責めなかったのかなと思っていました。

義足だから気をつけている事が、逆にその相手にいやな思いをさせているなんて私は気づきませんでした。だけど、「目がふさがれてあーちゃんの不自由さが分かった」という意見を聞いてなるほどと思いました。

その後、目がふさがれて僕は怒っていると思うのに、あーちゃんにどうして自然に接することができたのかとても不思議でした。でも、私が「僕」の立場になりよく考えてみると、あーちゃんに自然に接することができるようになった訳もだんだん分かってきたように思います。